

早稲田大学 人間科学学術院 人間科学会 諸費用補助成果報告書（Web 公開用）

申請者（ふりがな）	関寛人（セキヒロト）
所属・資格（※学生は課程・学年を記載。卒業生・修了生は卒業・修了年月も記載）	人間科学研究科 1 年
発表年月 または事業開催年月	2026 年 6 月
発表学会・大会 または事業名・開催場所	第 26 回日本抗加齢医学会総会
発表者（※学会発表の場合のみ記載、共同発表者の氏名も記載すること）	関 寛人, 井上 七海, 三又 麗奈, 時田 隆弘, 丸亀 祐貴, 矢野 敏史, 原 太一
発表題目（※学会発表の場合のみ記載）	オートファジーを活性化する D-アミノ酸の探索とその生理活性の解析
発表の概要と成果（抄録を公開している URL がある場合、「概要・成果」を記載した上で、URL を末尾に記してください。また、抄録 PDF は別途ご提出ください。なお、抄録 PDF は Web 上には公開されません。） オートファジーは細胞内成分を分解・再利用する機構であり、その活性化は老化や疾患の予防に寄与すると期待されている。近年、食品によるオートファジーの活性化が注目されており、我々は健康増進と密接に関連する発酵食品に着目し、オートファジーへの影響について研究を行ってきた。本研究では、発酵過程で産生される D-アミノ酸に着目し、オートファジーを活性化する D-アミノ酸の探索と作用メカニズムの解析することを目的とした。近年、哺乳動物での生合成が限定的である D-アミノ酸が生体中に存在することが示され、様々な生理活性を有することが報告されている。一方で、オートファジーへの影響については不明な点が多い。また、D-アミノ酸種により、組織特異的な生理作用を示すことが示されている。そこで、D-アミノ酸のオートファジー活性に対する影響を解析した。D-アミノ酸のオートファジーへの影響について、網羅的解析を行なった結果を示し、共通性を持つ D-アミノ酸についても報告することができた。	

※無断転載禁止